

平成27年2月2日

公益財団法人

東京オリンピック・パラリンピック競技大会
組織委員会 会長 森 喜朗 様

東京商工会議所世田谷支部
会長 大 場 信 秀

世田谷区商店街連合会
会長 桑 島 俊 彦

公益社団法人 世田谷工業振興協会
会長 井 上 治三郎

2020年東京オリンピック・パラリンピック
競技大会の競技会場について（要望）

日頃より、世田谷区内の産業振興、地域経済の活性化にご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私ども世田谷区内の産業団体は、これまで区と協働・連携し、区内産業の振興はもとより、地域の活性化や、観光資源を生かした世田谷の魅力アップに取り組んでまいりました。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催につきましては、スポーツの振興、国際交流や障害者理解のみならず、地域経済や地域コミュニティのさらなる活性化につながるものと期待しております。

昨年12月のIOC臨時総会で決定された「アジェンダ2020」では「既存施設や仮設会場の活用推進」が提言されております。

世田谷区内には、1964年の東京オリンピックで正式競技会場となった駒沢オリンピック公園競技場や馬事公苑など、多くのスポーツ施設があります。

つきましては、区内の既存施設の活用により、特に未来を担う子どもたちに夢と希望と感動を与える機会とすると同時に、産業振興、観光振興、地域活性化の好機とするため、世田谷区内におきましても競技を開催していただけるよう要望いたします。